

「スピカ」のイベントレポート①

上柿元シェフと
親子deクッキング

とき 8月11日
ところ 「スピカ」調理実習室

八月十一日、ハウステンボスホテルズ名譽総料理長の上柿元勝さん（かみもと かつたか）を招いて、スピカ調理実習室で、「上柿元シェフと親子deクッキング」が開かれました。

この料理教室は、食の大切さや親子で料理する楽しさを知ってもらおうと五年前から開かれていたものです。一流シェフから直接指導を受けられるとあって人気も高く、この日は、午前と午後、二回に分けて開催され、抽選で選ばれた市内の小・中学生と保護者各十二組が参加しました。

今回の献立は、子どもたちが大好きな「煮込みハンバーグとポテトサラダ」です。地元産の食材をふんだんに使い、盛り付けや彩りできれいに楽しくできることを学んでほしいという、上柿元シェフのオリジナルレシピです。

シェフが参加者に伝えたいのは調理方法や素材の知識だけではなく、「肉や

野菜の命をいただくものだから大切にしよう」と「材料に『おいしくなるように』と言うとおいしい料理になる」、「食べる人もこやかに食べ、『ありがとう』と言えはすべてうまくいく」など、食材に対する感謝の気持ちや、料理への心構えもです。

料理をするのが初めてという子どもたちも多く、緊張もあつてか初めのうちはシェフからの呼びかけに返事もできずでしたが、シェフが調理台を回り直接指導を始めると、質問をしたり、手伝ってもらったりしながら料理を完成させていきました。

お父さん（伸一さん）と参加した中川苑香さん（吉井南小四年）は、「お母さんに勧められて参加しました。お父さんの作る料理では、餃子が一番おいしいです」と教えてくれました。また、息子の竜平くん（木風小五年）と参加した大山裕史さん（木風町）は、「夏休みなので親子で参加しました。ハンバーグがおいしかったですね。意外と簡単にできました」と話してくれました。

完成後の試食会では、思った以上の料理の出来栄に皆さん満面に笑みを浮かべ、夏休みのいい思い出となったようでした。



シェフからひとこと



上柿元勝さん
ハウステンボスホテルズ
名譽総料理長

佐世保には「スピカ」といういい施設があるので、元気な子どもたちのため、地域のために貢献したいと思い、5年前から夏休みに親子料理教室を開いています。

教室にはお母さんだけでなく、お父さんも参加することが大きな意味を持っています。一緒に作ってみることで会話も広がるし、料理の大変さも分かり、作ってくれる人に対する感謝の気持ちを持つことができます。不平・不満を言うのではなく、感謝することが大切です。

地元産の食材を使って料理を作ることで自然の恵みに感謝したり、生ごみを土に戻すことで食材を大切に、自然環境を考えたりすることはとても大切なことだと思います。

フランス料理は難しいと思われていますが、作ってみると簡単だよということも伝えたいですね。

今は、小・中学生の親子が対象ですが、今後は、中学生、高校生も対象に、定期的にこういう教室が開けたらいいですね。

「スピカ」のイベントレポート②
スピカ・
ママキャンパス

とき 9月6日
ところ 「スピカ」研修室2

「スピカ」では、「スピカカレッジ」や「Re・Beワーク（再就職支援セミナー）」、「ビデオでトークしま専科」（下記参照）などさまざまな講座が開かれています。が、家族のために忙しい毎日を送っているママたちに「学び」の場を提供しようとして、こと新しく始まったのが、「スピカ・ママキャンパス」です。

これまで大学内で公開講座を開いていた長崎国際大学（ハウステンボス町）が、より多くの市民が気軽に受講できるようにと市中心部にある「スピカ」と連携し、「いまを読み解くキーワード」と題して、九月から六回シリーズで開催しています。

九月六日に開催された二回目は、「現代『くすり』事情くすりとの上手なつきあい方」と題して行われ、子育て世代の女性を中心に約三十人が受講しました。

まず、講師の薬学部教授立石正登さんが受講者に「薬は危ないと思います

か」と問いかけ、「くすりを逆から読むとリスク（危険）となります。それを危なくないものにするための方法を知ることが必要です」ということから講義が始まりました。

体の中の薬の働きを理解することで薬は危ないものではなくなったり、飲み方次第で効き方が違ったりすることなどが図を用いて分かりやすく説明され、受講者たちはメモを取りながら熱心に聞き入っていました。

また、「医師の専門用語が理解できなければ遠慮なく問い返すことが必要です。意思の疎通が医療事故を防ぎ、自分の身を守るためにも、分かるまで聞き返すことが大事」という話には、大きくうなずく姿が見られました。

受講した副島聖子さん（折橋町）は、「友人に誘われ、子どものアレルギーについての知識を吸収したいと思い受講しました。小さい子どもがいると難しいですが、このような機会を利用して外に出たいですね」と話してくれました。

長崎国際大学では、「コミュニケーション」が広がる一つの手段として多くの市民に受講してほしいです。質疑応答もあり、情報の相互作用で理解が深まると思います。今回のシリーズの反応を見ながら来年のプログラムを作ることにしています。託児もあるので、若いママさんにぜひ来てほしいです」



と市民に受講を呼びかけています。「ママキャンパス」の今後の予定は、十一月九日（金）「くらしを豊かにする『ソーシャルワーカー』」、三十日（金）「イストラム」のくらし」です。

募集

男女共同参画推進センター「スピカ」セミナー参加者募集（参加料無料）

① Re・Beワーク（再就職支援）セミナー

とき 11月13日（火）10時～16時

テーマ 再就職へのプラン作り

定員 20人

対象 育児・介護などのため退職し、再就職への準備をしている人や関心のある人

申し込み 電話かファクスで男共同参

託児 あり（1歳未満は要相談）

画課へ

② させぼ男女共同参画セミナー

「DVのない社会をめざして」

とき 11月17日（土）13時30分

定員 50人（申し込み不要）

対象 一般市民

託児 あり（11月12日締め切り）

③ させぼ男女共同参画セミナー

「ビデオでトークしま専科⑤」

とき 11月22日（木）10時

定員 15人

対象 一般市民

申し込み 電話か窓口で

託児 あり（11月15日締め切り）

④ 市男女共同参画課

TEL 23・3828

FAX 23・3880

TEL 23・3828

FAX 23・3880

TEL 23・3828

FAX 23・3880

TEL 23・3828

FAX 23・3880